

学校教育目標	「心はひとつ 八景小! ~自分らしさを発揮し、認め合い、思い合い、豊かに生きることができるようにします~」				
	【知】考え、つくりだす子 【徳】心豊かな子 【体】心身ともに健やかな子 【公】まちを愛する子 【開】自らかかわりあう子				
学校概要	創立 76 周年	学校長 岡崎 陽子	副校長 小沢 暢志	2 学期制	一般学級: 12 個別支援学級: 5
	児童生徒数: 390 人		主な関係校: 金沢中学校・西柴中学校		

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力	金沢中 ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける 育成を目指す資質・能力を踏まえた 「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
<協働して新しいものやことをつくりだす力> <自分づくりに関する力>	金沢中 八景小 金利谷東小 文庫小 金沢小	○「コミュニケーション能力」と「課題解決のために協力する力」の育成 ○他人を思いやり、地域社会に貢献できる児童生徒の育成 ・小学校職員と中学校職員による授業参観と意見交流を行う(6月) ・ブロックの教務主任が集まって意見交換や情報共有を行う(年2回程度) ・児童生徒交流日を実施して中学校生活への見通しをもつ(10月) ・行事を通して小中の交流機会をもち、コミュニケーションを深める ・「子ども会議」等の機会を生かして、協力して課題解決する力を育てる

中期取組目標	<ul style="list-style-type: none"> ○協働的に解決策を見だし実行できる学びを充実させます。 ・問題を見だし、試行錯誤する過程を大切にする授業づくりを推進し、解決の道筋を自ら考える力を育てます。 ○他者とのつながりを意識し、豊かな体験を通して、自分らしさを発揮する。 ・子ども人権会議「スマイル会」の活動やたてわり「なかよし活動」などを通して、自分のよさを生かして活動できるようにします。 ・地域とともに学べる環境を活かします。
--------	---

重点取組分野	具体的取組				
<table border="1"> <tr> <td style="background-color: yellow;">知</td> <td>授業改善</td> </tr> <tr> <td>担当</td> <td>生きてはたらく知</td> </tr> </table>	知	授業改善	担当	生きてはたらく知	①単元や一単位時間で育成を目指す資質・能力を明確にした授業づくりをする。②ICTや体験的な活動を効果的に活用し、子どもが自分の学びを判断して選択したり、協働的に学んだりしながら学習を進められるようにする。③重点研究に算数科を取り上げ、「考え、つくりだす子」の育成を目指す。
知	授業改善				
担当	生きてはたらく知				
<table border="1"> <tr> <td style="background-color: yellow;">徳</td> <td>豊かな心</td> </tr> <tr> <td>担当</td> <td>豊かな心</td> </tr> </table>	徳	豊かな心	担当	豊かな心	①子ども人権会議「スマイル会」を通して、子ども目線から人権意識の向上を図っていく。また、スマイル会の児童が「横浜子ども会議」に参加し、それを学校に共有することで、活動の充実を目指す。②特別支援教室として学習支援のためのチャレンジ教室や登校支援のためのほっとルームを設置し子どもが安心して学校生活を送れるようにする。③たてわり活動や全校遠足など異学年同士の交流を通して、協力し合い認め合い思いやる心情を育てる。
徳	豊かな心				
担当	豊かな心				
<table border="1"> <tr> <td style="background-color: yellow;">体</td> <td>健やかな体</td> </tr> <tr> <td>担当</td> <td>健やかな体</td> </tr> </table>	体	健やかな体	担当	健やかな体	①実態に応じた体育科学習を意識し、楽しく運動に取り組むことができる体育授業の充実。②心と体を一体と捉え、防犯、食育などの視点も踏まえ、自らの健康や安全を自らつくっていくことができる活動を推進する。③外遊びデーや集会などを機会に、健康面・体力面の向上を目指す。
体	健やかな体				
担当	健やかな体				
<table border="1"> <tr> <td style="background-color: yellow;">公 開</td> <td>自らかかわる子</td> </tr> <tr> <td>担当</td> <td>教務部</td> </tr> </table>	公 開	自らかかわる子	担当	教務部	①「自分づくりパスポート」や授業アンケートを通して、子ども達が自分の学習状況を把握し、キャリア形成に生かしたり、自らの変容や成長を自己評価したりできるようにする。②学区や地域の方々とのかかわりが深まるような学習の展開を構想し、子ども達と地域がつながる接点をもてるようにする。
公 開	自らかかわる子				
担当	教務部				
<table border="1"> <tr> <td colspan="2">いじめへの対応</td> </tr> <tr> <td>担当</td> <td>児童支援専任</td> </tr> </table>	いじめへの対応		担当	児童支援専任	①YPの活用及び生活アンケートによる教育相談を実施することで、いじめの未然防止と早期発見を図る。②「学校いじめ防止対策委員会」を月1回実施し、全職員で共通理解を図るとともに、関係機関との連携を図り、迅速に対応できるよう組織的に取り組む。③各学年の児童情報ファイルを活用し、各ブロック、学年で共有し支援法について相談し対応する。
いじめへの対応					
担当	児童支援専任				
<table border="1"> <tr> <td colspan="2">人材育成・組織運営(働き方)</td> </tr> <tr> <td>担当</td> <td>教務部</td> </tr> </table>	人材育成・組織運営(働き方)		担当	教務部	①学年研の充実とともに、記録の見える化、引継を体制化することで、持続可能な教育活動と誰一人取り残さない組織運営を推進する。②経験年数の浅い職員も自分のよさや意欲を生かしながら組織参画できる校内研修体制を整える。
人材育成・組織運営(働き方)					
担当	教務部				
<table border="1"> <tr> <td colspan="2">特別支援教育</td> </tr> <tr> <td>担当</td> <td>豊かな心</td> </tr> </table>	特別支援教育		担当	豊かな心	①全校の子ども一人ひとりを大切にすることを前提とし、児童理解の情報交換を日頃から行う。②支援が必要な子ども一人ひとりのニーズに合った個別の教育支援計画や個別の指導計画を作成し、継続的に支援する。③通級指導教室では、在籍校との連携を深めていく。④特別支援教室を保護者に周知し、多様な学びの場を充実させていく。④SCやSSWと連携して教育相談やケース会議を行い、適切な支援について検討していく。
特別支援教育					
担当	豊かな心				
<table border="1"> <tr> <td colspan="2">地域学校協働活動</td> </tr> <tr> <td>担当</td> <td>教務部 評価部</td> </tr> </table>	地域学校協働活動		担当	教務部 評価部	①児童運営委員会のあいさつ運動を通して、全校児童が子ども達同士であいさつしたり、自分から保護者や地域の方にもあいさつしたりできるようにする。②地域コーディネーターとの連携を図り、教育諸活動における協力を仰ぐとともに、地域とのかかわりを密にしながら本校カリキュラムの改善を進める。
地域学校協働活動					
担当	教務部 評価部				
<table border="1"> <tr> <td>担当</td> <td></td> </tr> </table>	担当				
担当					
<table border="1"> <tr> <td>担当</td> <td></td> </tr> </table>	担当				
担当					